2011.3.24

高専生が英語もできる 理由

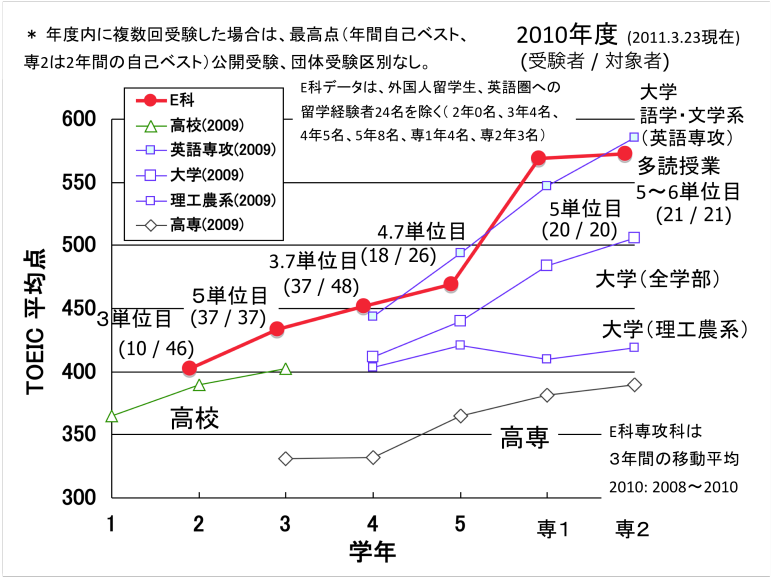
高専は理系の学校で、学生は英語が苦手だったはず。それは前世紀までの話です。21 世紀の高専生は英語も得意、世界を相手に勝負します。その理由は？

理由１　海外留学

YFU, AFS 等の派遣団体による交換留学制度により、毎年 30 名程度の 2～3 年生が 1 年間の留学をしています。これは、愛知県内はもちろん、全国でもダントツの交換留学実績。英語圏への留学経験者は TOEIC 平均点が 615 点に達します（2006～2010 年度、計 111 名）。

理由２　多読授業

留学に行かない学生の英語力を向上させたのが多読授業。2002 年度に電気・電子ｼｽﾃﾑ工学科（E 科）が先行導入し、英語が苦手な学生も、たのしく学ぶことができると実証しました。現在 E 科では、本科 2～5 年と専攻科 1,2 年で 6 年間継続の多読授業を、専門科目として実施中です。E 科学生の英語力を、大学生、社会人の英語力を測る試験 TOEIC の得点で全国平均と比べました（下図）。入学時には英語が得意でなくても、3 年生までには全国高校平均を越え、4 年生以上では英語専攻の大学生並であり、多読が大学受験より有効である可能性を示しています。専攻科 1,2 年生では、留学経験なしに TOEIC600 点以上を取得する学生も続出しており、全国の高専、大学からも注目されています。



2008 年度から全科共通科目（英語）での多読授業（本科低学年）も始まり、のべ百万語以上を読破した E 科学生は歴代で 109 名に達しました。中学までは英語が苦手だった学生も含めて、楽しみながら英語力をつけ始めています。

多読は、なぜ効果があるのでしょう？

秘密は、日本語に翻訳せず英文から直接意味を理解する、読み方にあります。日本語溢れる国内でも、頭の中は英語（と絵）だけとなり、留学に近い体験になります。短期間では効果は上がりませんが、高専のように長期継続環境では、着実な効果を期待できます。

多読授業には、大量のやさしい英文図書、個別指導できる教員、カリキュラム変更が必要で、大学受験で制約される高校では導入が難しいようです。複数年継続の多読授業を実践している学校は、国内でも多くありません。将来、国際的な舞台での活躍を夢見るなら、多読授業の充実した豊田高専で、楽しみながら英語力も身につけるのも一つの手です。

2011.3.24

2008 年度教育 GP（質の高い大学教育推進プログラム）選定プロジェクト
「多読・多聴による英語教育改善の全学展開」2008～2010 年度

体験者（卒業生）の声

2010 年 3 月電気・電子システム工学科卒業
石黒恵奨（東北大学在学中）

多読に関する感想「こんなにいい加減で、本当に大丈夫なの？」これは、僕が初めて多読授業を受けたときの、正直な感想です。多読には「多読三原則」と呼ばれる原則があります。「辞書は引かない」「わからないことはとばす」「つまらなければやめる」の３つです。この原則は、僕がそれまで受けてきた英語の授業とは、まるで正反対のアプローチ方法でした。英単語の暗記もなければ、文法の勉強もしなくていい。そんな多読は、従来の英語の授業が苦手だった僕にとって、非常に魅力的な学習法に映りました。

最初は少し警戒気味に、”騙されたと思って”多読を始めました。「そんなにウマい話はないよな」と。しかし、読んでいくにつれて、多読に対する印象が変わっていきました。

特に新鮮だったのが、物語を「訳さず、英語のまま読む」ことです。僕はそれまで、英文を読むときは、必ず頭の中で和訳していました。けれども、多読では、英語を英語のまま理解できるのです。これは、今までにない体験でした。

多読の効果　まず、英語に対する抵抗がなくなりました。以前は、英文表記と言われるとついつい身構えてしまうことがありました。けれど今は、「英語も日本語も、言葉であることに変わりはないじゃないか」と心にゆとりができたように思います。多読をやっていてよかったと感じるのは、外国人の方とおしゃべりする時です。頭の中で文章を組み立てるわけでもなく、言葉が、無意識に英語で出てくるようになりました。英語を使えるようになるために、必ずしも海外留学に行く必要はないと感じました。半年に一度のペースで受けている TOEIC の点数も徐々に伸びていきました。

多読による充実感　僕自身、最初は授業の一環として多読を始めたのですが、最近はもっぱら「趣味」として多読をおこなっています。読みたい洋書を図書館から借りてきて、読みたいときに読む。読む際には、目は英文を追っているけれど、頭の中では物語の情景が浮かんでいます。感覚としては、映画鑑賞に近いです。学生だけでなく、地域の社会人の方でも、多読を実践されている方が大勢いらっしゃいます。皆で集まって、読んだ本の情報交換をしたり、おしゃべりしたり。多読を続けていくうえで、互いによい刺激になります。本を読むことで人の輪が広がる、そんな楽しい経験をすることができました。

多読についてもっと知るには

- 小・中学校出前授業 #20「始めてみよう、絵本から始める英文多読」（学校からの要請による）
- 「100 万語英語多読体験会」（2011 年 4 月 16 日（土）10:00～11:30、豊田高専図書館、申込不要）
- 「英文多読公開授業」（近日中に、本校 HP「公開講座の案内」に掲載予定）

豊田高専図書館は、どなたでも利用でき（利用者登録が必要）、年間約 1 万冊の多読用図書が、学外の方に貸出されています。　　より詳しくは、豊田高専 HP で（http://www.toyota-ct.ac.jp）